

工 事 番 号							
設計年度	令和8年度		急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区） 三原市 深町				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工延長 L=25.0m 砂防土工 一式 支柱基礎反力体設置工 N=12本 山側控えロープアンカー工 N=7本 ネット高さ保持ロープアンカー工 N=4本 支柱組立設置工 N=6箇所							

県補助

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市深町 急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和8年4月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	資材運搬
時期	全工事期間
時間	9:00～15:00（作業可能時間）
施工方法・理由	工事箇所が通学路に近接するため、関係機関と調整を十分に行い、登下校時間は資材の搬出入を極力行わないこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

1 騒音防止 管理内容 時期

小学校が隣接するため、事前に調整を行い、騒音等については十分に配慮すること。
全工事期間

第4節 安全対策

1 交通誘導員

作業期間中の交通誘導員は、資材の搬入・搬出時、作業時において8人見込んでいます。

2 交通安全施設

受注者は作業時間中、児童等への安全管理を徹底するものとする。

夜間及び休日において、工事区域に保安灯やバリケードの設置を行う等、近隣住民や通学児童への安全対策に努めること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第6節 工事用道路

1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処理	随時清掃を行うこと。また、工事完了後は舗装欠損部の補修を行うこと。（工事前、後の写真により監督員と協議すること。）

第7節 その他

1 工事用機資材等の仮置き場所

受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は設計で現場管理費に見込んでいる。

3 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

- 4 関係機関・自治体との近接協議
内容 工事内容や施工時期について、事前に深小学校及び深放課後児童クラブと協議を行うこと。
- 5 新技術・新工法・特許工法の指定
ネット系待受工について、次のとおり施工すること。
内容 斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受工として、建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、（財）砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月 広島版）『1-1-1-33 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第2節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 藤蔭工業株式会社美ノ郷リサイクルセンター（尾道市美ノ郷町本郷 1 1 7 5）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
斜面对策		式	1	レベル1
砂防土工		式	1	レベル2
掘削工		式	1	レベル3
掘削		m3	50	レベル4
残土処理工		式	1	レベル3
法面工		式	1	レベル2
支柱組立設置工		式	1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式	1	レベル4
支柱基礎反力体設置工		式	1	レベル4
山側控えロープアンカー工		式	1	レベル4
ネット高さ保持ロープアンカー工		式	1	レベル4
本体組立工		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
交通誘導警備員		人	8	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

図面番号	1/5	縮尺	S=1:250
工種	急傾斜地崩壊対策工事(深小学校上地区)		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

平面図



- 施工延長 L=25m
- 支柱基礎反力体設置工 N=12本
- 山側控えロープアンカー工 N=7本
- ネット高さ保持ロープアンカー工 N=4本
- 支柱組立設置工 N=6箇所
- 山側控えロープ工 N=8本
- 傾角拘束ロープ工 N=4本
- 垂直ロープ工 N=4本
- ネット高さ保持・緩衝装置設置ロープ工 N=12本

全体工事延長 L=178m
 フェンス N=31個
 フェンス基礎 A=636.9m²
 吹付法砕工(1) L=59.6m
 落石防護柵 L=60.6m
 待受擁壁工 U型水路 L=47.2m

ネット系待受工(2) L=60.0m
 ネット系待受工(3) L=47.0m

ネット系待受工(1) L=25.0m
 吹付法砕工(2) A=372.0m²

重力式擁壁工 L=2.2m
 U型水路 L=14.5m
 現場打U型水路 L=0.6m

吹付法砕工 A=50.2m²(施工済)
 石積補強工(3) 施工済

石積補強工(1)

石積補強工(4)

石積補強工(5)

(主)尾道三原線

市道深町33号線

藤井川

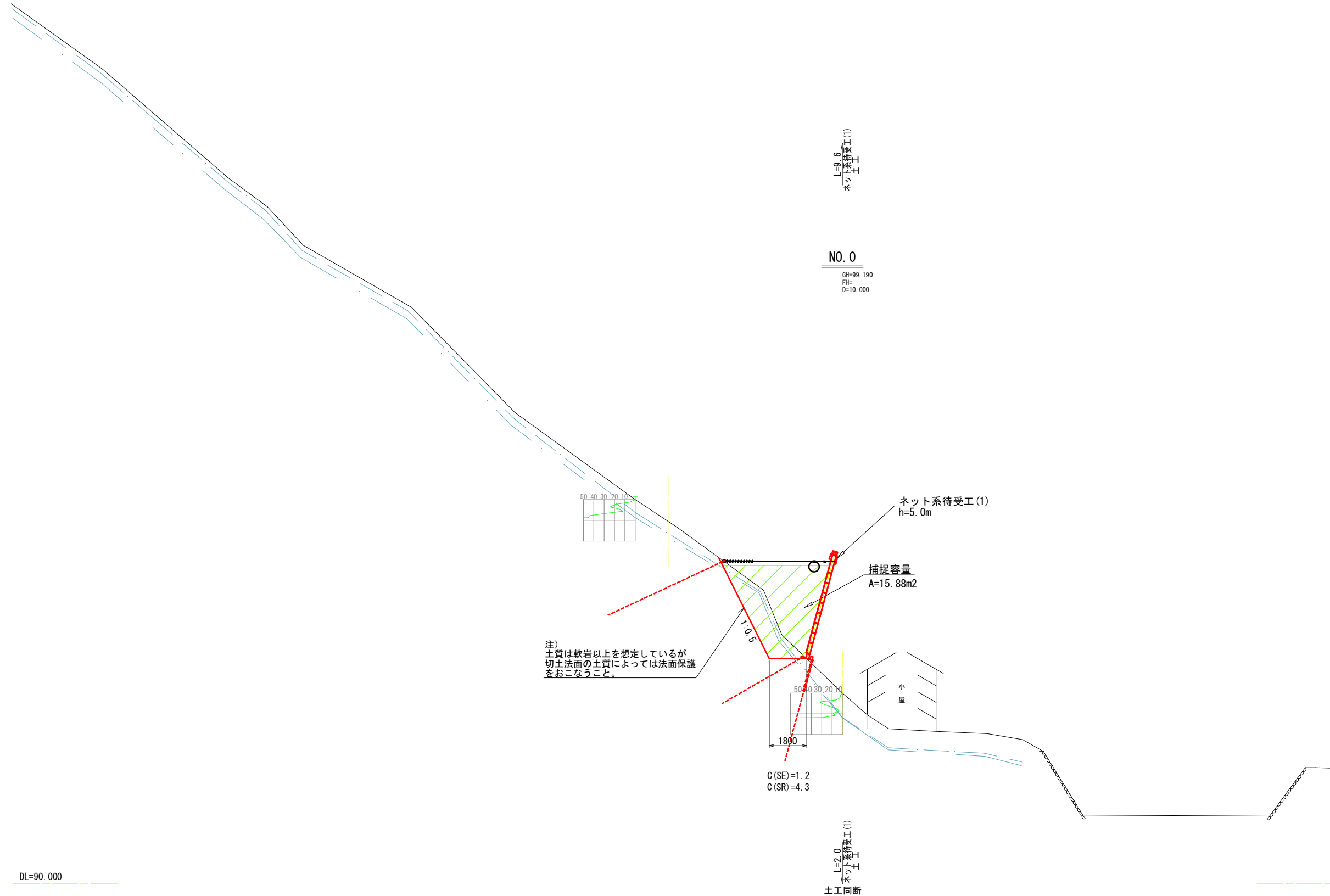
三原市立深町小学校

三原市立深町中学校

横断図 (1/3)

図面番号	3/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	番号	1/19
路線名 河川	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 0



L=9.6
ネット系待受工(1)
土工

NO. 0
GH=99.190
FH=
D=10.000

ネット系待受工(1)
h=5.0m

捕捉容量
A=15.88m²

注)
土質は軟岩以上を想定しているが
切土法面の土質によっては法面保護
をおこなうこと。

C(SE)=1.2
C(SR)=4.3

L=2.0
ネット系待受工(1)
土工同断

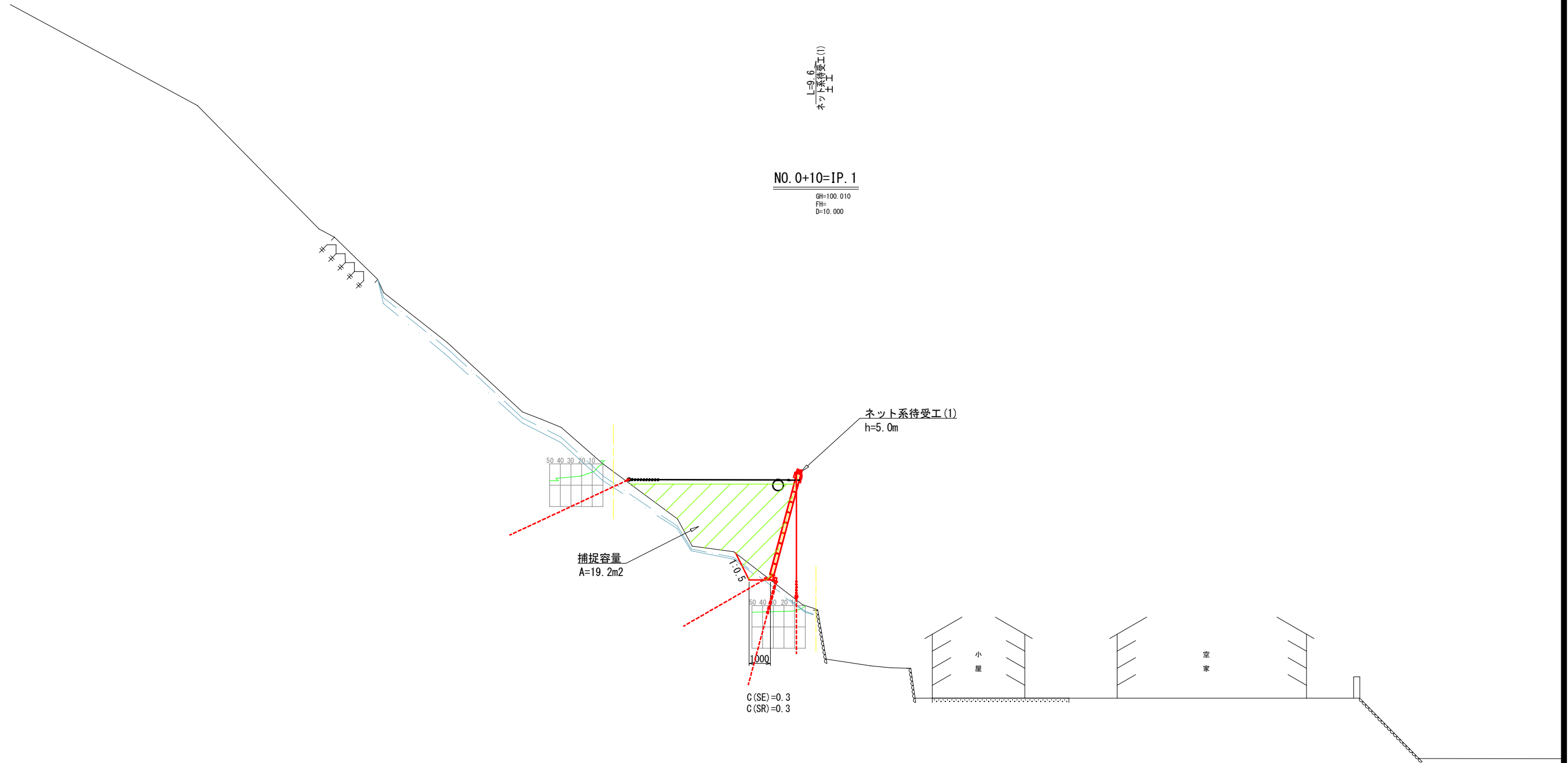
DL=90.000

田

横断図 (2/3)

図面番号	4/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	番号	2/19
路線名 河川	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 0+10=IP. 1

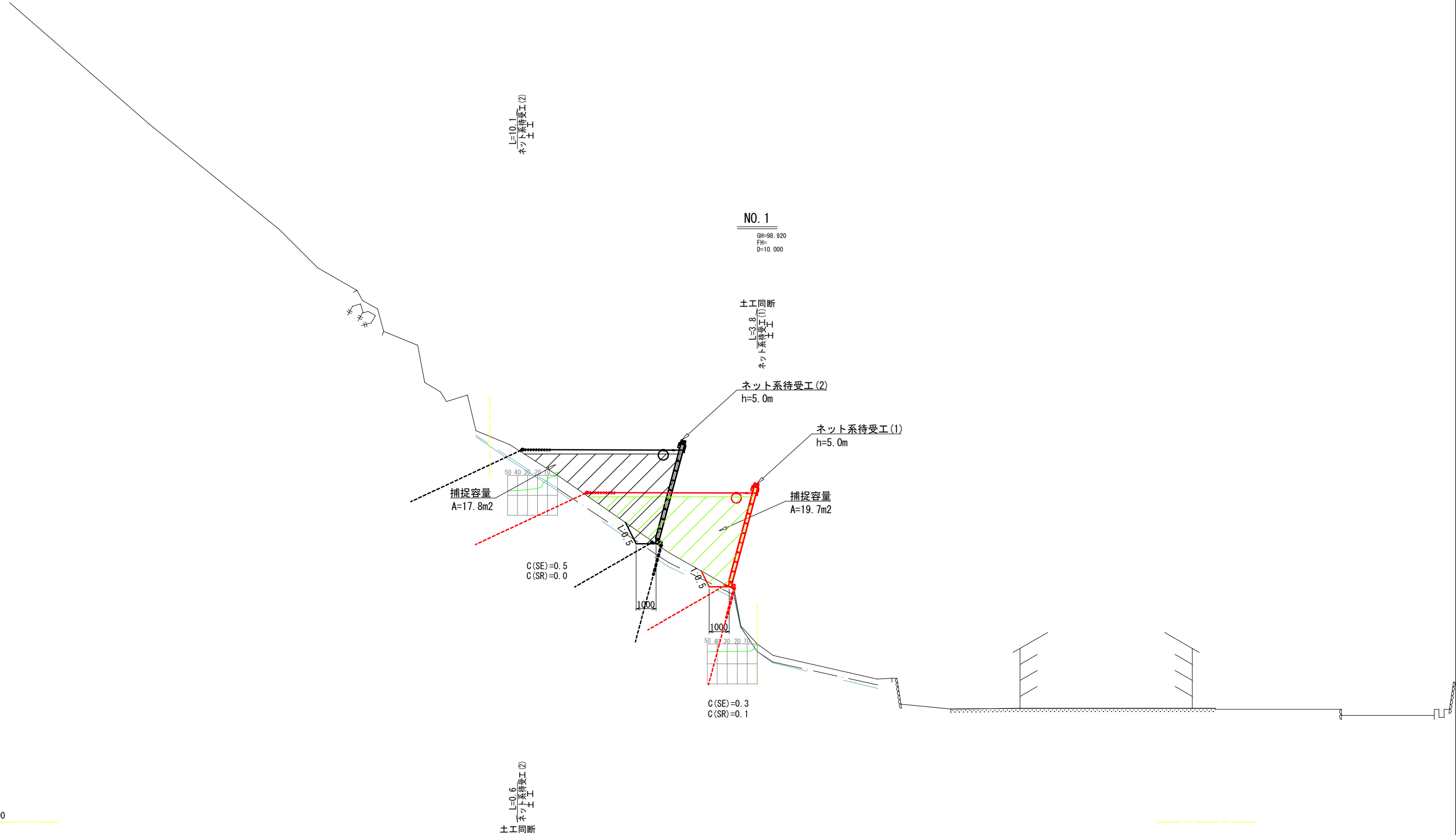


横断図 (3/3)

図面番号	5/5	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	番号	3/3
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

NO. 1

DL=90.000



参 考 资 料

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-08.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
砂防土工	1	式			Y1D0301 レベル2
掘削工	1	式			Y1D030101 レベル3
掘削	1	式			Y1D03010101 レベル4
掘削 土砂 現場制約あり	50	m3			SPK25040001 00
残土処理工	50	m3			単第0 -0001 表 Y1D030109 レベル3
土砂等運搬	1	式			Y1D03010902 レベル4
土砂等運搬	50	m3			
人力運搬（積込み～運搬～取卸し） 換算距離20m以下	50	m3			SPK25040022 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	50	m3			SPK25040007 00 単第0 -0003 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)	50	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分	50	m3			Y1D03010903レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	50	m3			F000000100 00
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2
支柱組立設置工	1	式			Y1D030301 レベル3
資機材搬入・搬出工	1	式			Y1D03030101レベル4
資機材搬入・搬出工	1	式			V000000100 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オベレータ付 排1~3,2011,2014	8	日			KR006001 00
支柱基礎反力体設置工	1	式			Y1D03030103レベル4
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア-削孔 レキ質土	72	m			V000000303 00 単第0 -0006 表
注入打設工	2.4	m3			V000000500 00 単第0 -0007 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線相当 設計荷重400kN未満)	7	本			V000000403 00 単第0 -0008 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線相当 設計荷重400kN以上1300未満)	5	本			V000000404 00 単第0 -0009 表
耐荷試験工(支柱基礎反力体)	12	本			V000000601 00 単第0 -0010 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V000000700 00 単第0 -0011 表
山側控えロープアンカー工	1	式			Y1D03030104レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア-削孔 レキ質土	38	m			V000000303 00 単第0 -0006 表
注入打設工	1.3	m3			V000000500 00 単第0 -0007 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線より線 設計荷重400kN未満)	3	本			V000000401 00 単第0 -0012 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線より線 設計荷重400kN以上1300未満)	4	本			V000000402 00 単第0 -0013 表
耐荷試験工(山側・谷側反力体)	7	本			V000000602 00 単第0 -0014 表
ボーリングマシン移設工	2	回			V000000700 00 単第0 -0011 表
ネット高さ保持ロープアンカー工	1	式			Y1D03030105レベル4
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア-削孔 レキ質土	25	m			V000000303 00 単第0 -0006 表
注入打設工	0.8	m3			V000000500 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線より線 設計荷重400kN未満)	2	本			V000000401 00 単第0 -0012 表
アンカー鋼材組立・加工・挿入工 (PC鋼線より線 設計荷重400kN以上1300未満)	2	本			V000000402 00 単第0 -0013 表
耐荷試験工(横反力体)	4	本			V000000603 00 単第0 -0015 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V000000700 00 単第0 -0011 表
本体組立工	1	式			Y1D03030106レベル4
グラウンドプレート設置工	6	箇所			V000000800 00 単第0 -0016 表
支柱組立設置工 柵高H=5.0m	6	箇所			V000000900 00 単第0 -0017 表
山側控えロープ工	8	本			V000001000 00 単第0 -0018 表
傾角拘束ロープ工	4	本			V000001100 00 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
垂直ロープ工					V000001200 00
	4	本			単第0 -0020 表
ネット高さ保持ロープ・緩衝装置設置ロープ					V000001300 00
	12	本			単第0 -0021 表
材料費					Y1D03030107レベル4
	1	式			
材料費					V000000300 00
	1	式			単第0 -0022 表
仮設工					Y1D0310 レベル2
	1	式			
足場工					Y1A041201 レベル3
	1	式			
足場					Y1A01070904レベル4
	430	空m3			
足場工					V000000200 00
	430	空m3			単第0 -0023 表
交通管理工					Y1D031021 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	8	人			Y1D03102101 レベル4
交通誘導警備員B	8	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05 レベル2
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
木根等処分費	1	式			YZZ05001001 レベル4
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)	300	m2			SPK25040183 00 単第0 -0024 表
集積(人力施工)(伐木除根) -(全ての費用)	300	m2			SPK25040187 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬(伐木除根) 人力施工 DID区間無し 運搬距離32.0km以下(24.5km超)	28	m3			SPK25040189 00 単第0 -0026 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
投棄料	28	m3			F000000200 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0003 表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 26.01%

労務構成比:

62.89%

材料構成比: 11.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,093.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0004 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離6.0km以下(5.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90% 材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,097.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=28 距離6.0km以下(5.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

削孔工

V000000303

単第0 -0006 表

ロータリーパーカッションスキッド

115mm

二重管エア-削孔 レキ質土

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			
特殊作業員	0.86	人			
普通作業員	1.72	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.86	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	0.86	日			
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.04	個			
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.03	本			
エクステンションロッド 118mm アンカー用	0.04	本			
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.20	本			
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.22	個			
リングビット 118mm アンカー用	0.20	個			
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			

施工単価表

注入打設工

V000000500

単第0 -0007 表

頁0 -0018

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	17.00	人			
特殊作業員	17.00	人			
普通作業員	34.00	人			
雑材料	23	%			#01
セメント(袋) 早強ポルトランド 25kg/袋	12.30	t			
混和剤 シーカセムFLC400	123.00	L			
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

材料費

V000000300

単第0 -0022 表

頁0 -0033

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱アッセンブリー H=5.0m (H-200)	6	組			
グラウンドプレート	6	本			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング:GS-9017 一個付属	4	本			
上部サポートロープ G22mm×L=38.0m 一端シンプル加工	1	本			
上部サポートロープ G22mm×L=43.0m 一端シンプル加工	1	本			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング:GS-9017 一個付属	4	本			
下部サポートロープ G22mm×L=33.5m 一端シンプル加工	1	本			
下部サポートロープ G22mm×L=38.5m 一端シンプル加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=9.0m 一端500mmループ加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=11.5m 一端500mmループ加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=8.0m 一端500mmループ加工	1	本			
ラテラルロープ 18mm×L=10.5m 一端500mmループ加工	1	本			

施工単価表

材料費

V000000300

単第0 -0022 表

頁0 -0034

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
リテイニングロープ 20mm×L=8.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング:GS-8002 一個付属	2	本			
リテイニングロープ 22mm×L=10.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング:GS-8002 一個付属	3	本			
リテイニングロープ 20mm×L=10.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング:GS-8002 一個付属	2	本			
パーティカルロープ G22mm×L=11.5m 両端シンプル加工	4	本			
ダウンスロープ・リテイニングロープ 20mm×L=7.0m 一端500mmループ加工	1	本			
ワイヤクリップ FF-C=450 3/4"	36	個			
ワイヤクリップ FF-C-450 7/8"	32	個			
ワイヤクリップ EN 13411-5 NG22	8	個			
シャックル NG1"	16	個			
シンプル G22mm用	4	個			
上部サポートロープアンカー 22.5mm×2 L=6.5m	1	本			
上部サポートロープアンカー 22,5mm×2 L=6m	1	本			

施工単価表

材料費

V000000300

単第0 -0022 表

頁0 -0035

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
下部サポートロープアンカー 22.5mm×2 L=6.5m	1	本			
下部サポートロープアンカー 22.5mm×2 L=6m	1	本			
端末リテイニングロープアンカー 18.5mm×2 L=4.5m	2	本			
中間リテイニングロープアンカー 22.5mm×2 L=6.5m	4	本			
ダウンスロープアンカー 10.5mm×2 L=2.5m	1	本			
全ねじ異形棒鋼(山側) D32(SD490) L=4.2m	1	本			
全ねじ異形棒鋼(山側) D32 (SD490) L=4.2m	1	本			
全ねじ異形PC鋼棒(山側) D32 L=7.2m	4	本			
全ねじ異形PC鋼棒(谷側) D32 L=7.7m	1	本			
全ねじ異形PC鋼棒(谷側) D32 L=6.2m	1	本			
全ねじ異形PC鋼棒(谷側) D32 L=5.7m	4	本			
ナット(上部) D32用	2	個			

施工単価表

材料費

V000000300

単第0 -0022 表

頁0 -0036

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ナット(下部) D32用	2	個			
ワッシャ D32用	4	個			
ナット(上部) D32用	4	個			
溝付きナット(上部) D32用	6	個			
ナット(下部) D32用	10	個			
ワッシャ D32用	14	個			
カプラー D32用	10	個			
補強鋼管 STPG370 76.3×t7.0 L=1500	4	本			
補強鋼管 S45C 76.3×t7.0 L=1500	2	本			
頭部保護キャップ	12	個			
充填剤 333ml/本	12	本			
孔壁保護管 60mmメッシュ管	70	本			

施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK25040183

単第0 -0024 表

伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

125.84000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	56.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

運搬(伐木除根)
 人力施工 DID区間無し

SPK25040189

単第0 -0026 表

運搬距離32.0km以下(24.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 21.60% 労務構成比:

69.98% 材料構成比: 8.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,185.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	21.60%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.98%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.42%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 人力施工 D=63 運搬距離32.0km以下(24.5km超)			C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)		

数量総括表

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

数量総括表

インパクトバリア					
H= 5m L=5@5m=25m					
項目または名称	仕 様		単位	数量	備 考
支柱アッセンブリー	H=5.0m		組	6	
グラウンドプレート	GP-1-1B		体	6	
リングネット	ROCC019/3/300		m ²	0.0	
ワイヤメッシュ	φ 2.4 × 50		ロール	0	
ワイヤメッシュ接続針金	L=120mm		個	0	
リプレイスロープ	A-1	φ G22mm × L=1.5m 両端シングル加工	本	4	
		ブレーキリング： GN-9017 1個付属			
上部サポートロープ	A-2	φ G22mm × L=38m 一端シングル加工	本	1	
	A-3	φ G22mm × L=43m 一端シングル加工	本	1	
リプレイスロープ	B-1	φ G22mm × L=1.5m 両端シングル加工	本	4	
		ブレーキリング： GN-9017 1個付属			
下部サポートロープ	B-2	φ G22mm × L=33.5m 一端シングル加工	本	1	
	B-3	φ G22mm × L=38.5m 一端シングル加工	本	1	
ラテラルロープ	C-1	φ 18mm × L=9m 一端500mmルーフ加工	本	1	
	C-2	φ 18mm × L=11.5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
	C-3	φ 18mm × L=8m 一端500mmルーフ加工	本	1	
	C-4	φ 18mm × L=10.5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
リテイニングロープ	D-1	φ 20mm × L=8.5m 一端500mmルーフ加工	本	2	
		ブレーキリング： GS-8002 1個付属			
	D-2	φ 22mm × L=8.5m 一端500mmルーフ加工	本	0	
		ブレーキリング： GS-8002 1個付属			
	D-3	φ 22mm × L=9.5m 一端500mmルーフ加工	本	0	
		ブレーキリング： GS-8002 1個付属			
D-4	φ 22mm × L=9.5m 一端500mmルーフ加工	本	0		
	ブレーキリング： GS-8002 1個付属				
D-5	φ 22mm × L=10.5m 一端500mmルーフ加工	本	3		
	ブレーキリング： GS-8002 1個付属				
D-6	φ 20mm × L=10m 一端500mmルーフ加工	本	2		
	ブレーキリング： GS-8002 1個付属				
パーティカルロープ	E-1	φ G22mm × L=11.5m 両端シングル加工	本	4	
ダウンスロープ リテイニングロープ	F-1	φ 20mm × L=7m 一端500mmルーフ加工	本	1	
ワイヤクリップ	FF-C-450 3/4"		個	36	
	FF-C-450 7/8"		個	32	
	EN 13411-5 NG22		個	8	
シャックル	NG7/8"		個	0	
	NG1"		個	16	
シングル	φ G22mm用		個	4	

数量総括表

インパクトバリア					
H= 5m L=5@5m=25m					
項目または名称	仕	様	単位	数量	備 考
上部サポートロープアンカー	φ 22. 5mm×2	L=6. 5m	本	1	P1
	φ 22. 5mm×2	L=6m	本	1	P6
下部サポートロープアンカー	φ 22. 5mm×2	L=6. 5m	本	1	P1
	φ 22. 5mm×2	L=6m	本	1	P6
端末部リテイニングロープアンカー	φ 18. 5mm×2	L=4. 5m	本	1	R1
	φ 18. 5mm×2	L=4. 5m	本	1	R6
中間部リテイニングロープアンカー	φ 22. 5mm×2	L=6. 5m	本	4	R2~R5
ダウンスロープアンカー	φ 10. 5mm×2	L=2. 5m	本	1	P6
全ねじ異形棒鋼（山側）	D32（SD490）	L=4. 2m	本	1	P1
	D32（SD490）	L=4. 2m	本	1	P6
全ねじ異形PC鋼棒（山側）	D32	L=7. 2m	本	4	P2~P4
全ねじ異形PC鋼棒（谷側）	D32	L=7. 7m	本	1	P1
	D32	L=6. 2m	本	1	P6
	D32	L=5. 7m	本	4	P2~P5
削孔長	φ 115mm		m	134. 0	
全ねじ異形棒鋼付属品					
ナット（上部）	D32用		個	2	
ナット（下部）	D32用		個	2	
ワッシャ	D32用		個	4	
全ねじ異形PC鋼棒付属品					
ナット（上部）	D32用		個	4	
溝付ナット（上部）	D32用		個	6	
ナット（下部）	D32用		個	10	
ワッシャ	D32用		個	14	
カプラー	D32用		個	10	
補強鋼管	STPG, φ 76. 3×t7. 0, L=1500		本	4	
	S45C, φ 76. 3×t7. 0, L=1500		本	2	
頭部保護キャップ			個	12	
充填剤	333m ² /本		本	12	
孔壁保護管	φ 60 mmメッシュ管		本	70	
スペーサー			個	78	
グラウト量			m ³	4. 45	
足場空 ³			空 ³	426. 1	

※施工時においては、地形状況に合わせるため、各ワイヤロープ長を変更する場合もある。

1. 支柱アッセンブリー

h= 5.0 m : 6 (組)

※支柱アッセンブリー：支柱及び支柱とグラウンドプレートを接続する接続部材を組み合わせた一式を意味する。

2. グラウンドプレート

グラウンドプレート GP-1-IB タイプ 6 (体)

3. リングネット

リングネットタイプ： ROCC019/3/300

リングネットタイプ	H(m)	L(m)	1枚当り面積(m ²)	パネル数(枚)	延面積(m ²)
ROCC019/3/300	0.0	0	0	0	0
合 計					0

※1パネルサイズ=H：高さ×L：横幅

4. ワイヤメッシュ φ2.4×50 1ロール：1.75×25.0(m)

ネット必要列数： 柵延長／(1.75-0.7)
= 0 / 1.05 = 0 (列)

必要ロール数： ネット必要列数×(H+0.15+0.5)／25
= 0 × 0.20 / 25 = 0 (ロール)

※横方向重ね70cm、上部折り返し15cm、下部張り出し50cm考慮する。

必要ロール数： = 0 ≒ 0 (ロール)

5. ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm

接続箇所数： 0 (箇所/m²)

必要個数： 5.0 × 0 × 25 = 0 (個)

6. ワイヤロープ長

(1) リプレイスロープ, サポートロープ ϕ G22 mm

① リプレイスロープ (A-1)

1 本当たりの必要長 (L)

$$L = 1.5 \text{ (m)}$$

② 上部サポートロープ (A-2)

設置長 (l_1)

$$l_1 = 6.3 + 25.0 + 5.3 = 36.6 \text{ (m)}$$

1 本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 36.6 + 1.2 = 37.8 \approx 38.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

③ 上部サポートロープ (A-3)

設置長 (l_1)

$$l_1 = 9.0 + 25.0 + 7.6 = 41.6 \text{ (m)}$$

1 本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 41.6 + 1.2 = 42.8 \approx 43.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

④ リプレイスロープ (B-1)

1 本当たりの必要長 (L)

$$L = 1.5 \text{ (m)}$$

⑤ 下部サポートロープ (B-2)

設置長 (l_1)

$$l_1 = 3.5 + 25.0 + 3.5 = 32.0 \text{ (m)}$$

1 本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 32.0 + 1.2 = 33.2 \approx 33.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑥ 下部サポートロープ (B-3)

設置長 (l_1)

$$l_1 = 6.0 + 25.0 + 6.0 = 37.0 \text{ (m)}$$

1 本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 37.0 + 1.2 = 38.2 \approx 38.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(2) ラテラルロープ

① ラテラルロープ (C-1) ϕ 18 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 7.8 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \text{ (} l_2 \text{: 締め付け余長 1.0m)} \\ &= 7.8 + 1.0 = 8.8 \approx 9.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

② ラテラルロープ (C-2) ϕ 18 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 10.5 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \text{ (} l_2 \text{: 締め付け余長 1.0m)} \\ &= 10.5 + 1.0 = 11.5 \approx 11.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

③ ラテラルロープ (C-3) ϕ 18 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 6.8 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \text{ (} l_2 \text{: 締め付け余長 1.0m)} \\ &= 6.8 + 1.0 = 7.8 \approx 8.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

④ ラテラルロープ (C-4) ϕ 18 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 9.1 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \text{ (} l_2 \text{: 締め付け余長 1.0m)} \\ &= 9.1 + 1.0 = 10.1 \approx 10.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(3) リテイニングロープ

① リテイニングロープ (D-1) ϕ 20 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 7.2 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \text{ (} l_2 \text{: 締め付け余長 1.0m)} \\ &= 7.2 + 1.0 = 8.2 \approx 8.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

②リテイニングロープ (D-2) ϕ 22 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 0.0 \quad (\text{m})$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 0.0 + 1.2 = 1.2 \approx 0.0 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

③リテイニングロープ (D-3) ϕ 22 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 0.0 \quad (\text{m})$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 0.0 + 1.2 = 1.2 \approx 0.0 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

④リテイニングロープ (D-4) ϕ 22 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 0.0 \quad (\text{m})$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 0.0 + 1.2 = 1.2 \approx 0.0 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

⑤リテイニングロープ (D-5) ϕ 22 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 9.3 \quad (\text{m})$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 9.3 + 1.2 = 10.5 \approx 10.5 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

⑥リテイニングロープ (D-6) ϕ 20 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 8.5 \quad (\text{m})$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2\text{m}) \\ &= 8.5 + 1.2 = 9.7 \approx 10.0 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

(4) バーチカルロープ ϕ G22 mm

① バーチカルロープ (E-1)

設置長 (l_1)

$$\begin{aligned} l_1 &= 5.2 \times 2 \\ &= 10.4 \approx 10.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{余長 } 1.0\text{m}) \\ &= 10.5 + 1.0 = 11.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(5) ダウンスロープリテイニングロープ

① ダウンスロープリテイニングロープ (F-1) ϕ 20 mm

設置長 (l_1)

$$l_1 = 5.9 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0\text{m}) \\ &= 5.9 + 1.0 = 6.9 \approx 7.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(6) ワイヤロープ数量表

ワイヤロープ数量表 (φ 18 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ必要長(m)	ロープ本数	ワイヤロープ延長(m)
ラテラルロープ	C-1	9.0	1	9.0
	C-2	11.5	1	11.5
	C-3	8.0	1	8.0
	C-4	10.5	1	10.5
合 計				39.0

ワイヤロープ数量表 (φ 20 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ必要長(m)	ロープ本数	ワイヤロープ延長(m)
端末部リテイニングロープ	D-1	8.5	2	17.0
	D-6	10.0	2	20.0
ダウンスロープ リテイニングロープ	G-1	7.0	1	7.0
合 計				44.0

ワイヤロープ数量表 (φ 22 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ必要長(m)	ロープ本数	ワイヤロープ延長(m)
中間部リテイニングロープ	D-2	8.5	0	0.0
	D-3	9.5	0	0.0
	D-4	9.5	0	0.0
	D-5	10.5	0	0.0
合 計				0.0

ワイヤロープ数量表 (φ G22 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ必要長(m)	ロープ本数	ワイヤロープ延長(m)
リプレイスロープ	A-1	1.5	4	6.0
上部サポートロープ	A-2	38.0	1	38.0
	A-3	43.0	1	43.0
リプレイスロープ	B-1	1.5	4	6.0
下部サポートロープ	B-2	33.5	1	33.5
	B-3	38.5	1	38.5
バーチカルロープ	E-1	11.5	4	46.0
合 計				211.0

7. ブレーキリング

ブレーキリングの種類

GS-8000 ブレーキリング	(ワイヤロープφ12mm, φ14mm対応)
GS-8001 ブレーキリング	(ワイヤロープφ16mm, φ18mm対応)
GS-8002 ブレーキリング	(ワイヤロープφ20mm, φ22mm対応)
GN-9017 ブレーキリング	(ワイヤロープφG22mm対応)

ブレーキリング数量表

ワイヤロープ区分		1本当たりの ブレーキリング数 (個)			ロープ 本数 (本)	延べブレーキリング数 (個)		
		GS-8001	GS-8002	GN-9017		GS-8001	GS-8002	GN-9017
リプレイスロープ	A-1	-	-	1	4	-	-	4
	B-1	-	-	1	4	-	-	4
リテイニングロープ	D	-	1	-	4	-	4	-
	D	-	1	-	3	-	3	-
合 計						0	7	8

8. ワイヤクリップ数

FF-C-450ワイヤクリップ種類

7/16"	(ワイヤロープφ12mm対応)
9/16"	(ワイヤロープφ14mm対応)
5/8"	(ワイヤロープφ16mm対応)
3/4"	(ワイヤロープφ18mm, φ20mm対応)
7/8"	(ワイヤロープφ22mm, φG22mm対応)

EN13411-5ワイヤクリップ種類

NG13	(ワイヤロープφ12mm対応)
NG16	(ワイヤロープφ14mm, φ16mm対応)
NG19	(ワイヤロープφ18mm対応)
NG22	(ワイヤロープφ20mm, φ22mm, φG22mm対応)

(1) ワイヤロープ固定用 FF-C-450ワイヤクリップ数量表 (※バーチカルロープを除く)

ワイヤロープ区分	ロープ径 (mm)	1本当りのクリップ数 (個)					ロープ 本数(本)	延べクリップ数 (個)				
		7/16"	9/16"	5/8"	3/4"	7/8"		7/16"	9/16"	5/8"	3/4"	7/8"
上部サポートロープ	A φ G22 mm	-	-	-	-	5	2	-	-	-	-	10
下部サポートロープ	B φ G22 mm	-	-	-	-	5	2	-	-	-	-	10
ラテラルロープ	C φ 18 mm	-	-	-	4	-	4	-	-	-	16	-
リテイニングロープ	D φ 20 mm	-	-	-	4	-	4	-	-	-	16	-
	φ 22 mm	-	-	-	-	4	3	-	-	-	-	12
ダウンスロープ リテイニングロープ	G φ 20 mm	-	-	-	4	-	1	-	-	-	4	-
合 計								0	0	0	36	32

(2) バーチカルロープ固定用 EN13411-5ワイヤクリップ

EN13411-5ワイヤクリップ仕様 : NG22

1本当りのクリップ数 : 2 (個)

バーチカルロープ本数 : 4 (本)

2 (個/本) × 4 (本) = 8 (個)

9. シャックル数

- ・リングネットパネル連結用シャックル NG7/8”
シャックル数量表

区分	パネルサイズ (縦m×横m)	対バーチカル ロープ連結用	対サポート ロープ連結用	対リング ネット連結用	パネル 数	延べ シャックル数
左端末 (5m)	5.0 × 5	12	30	23	0	0
中間 (5m)	5.0 × 5	-	30	23	0	0
右端末 (5m)	5.0 × 5	12	30	-	0	0
合計						0

- ・リプレイスロープ～サポートロープ連結用シャックル NG1”
必要個数=リプレイスロープ本数： 8 (個)
- ・リプレイスロープ～ワイヤロープアンカー連結用シャックル NG1”
必要個数=リプレイスロープ本数： 8 (個)

10. シンプル φ G22 mm用
必要個数=サポートロープ本数： 4 (個)

1 1. ワイヤロープアンカー及び支柱基礎反力体

(1) 鋼材長

①ワイヤロープアンカー

・ 上部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
6.5 (m/本) × 1 (本) =	6.5 (m)		: P1
・ 上部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
6.0 (m/本) × 1 (本) =	6.0 (m)		: P6
・ 下部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
6.5 (m/本) × 1 (本) =	6.5 (m)		: P1
・ 下部サポートロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
6.0 (m/本) × 1 (本) =	6.0 (m)		: P6
・ 端末部リテイニングロープアンカー	φ 18.5 mm×2		
4.5 (m/本) × 1 (本) =	4.5 (m)		: R1
・ 端末部リテイニングロープアンカー	φ 18.5 mm×2		
4.5 (m/本) × 1 (本) =	4.5 (m)		: R6
・ 中間部リテイニングロープアンカー	φ 22.5 mm×2		
6.5 (m/本) × 4 (本) =	26.0 (m)		: R2~R5
・ ダウンスロープアンカー	φ 10.5 mm×2		
2.5 (m/本) × 1 (本) =	2.5 (m)		: P3

②全ねじ異形棒鋼 D32 (SD490)

鋼材長=設置長+設置余長 (0.2m)

山側 :	4.2 (m/本) × 1 (本) =	4.2 (m)	: P1
	4.2 (m/本) × 1 (本) =	4.2 (m)	: P6

※設置長=削孔長となる。

③全ねじ異形PC鋼棒 D32

鋼材長=設置長+設置余長 (0.2m)

山側 :	7.2 (m/本) × 4 (本) =	28.8 (m)	: P2~P5
谷側 :	7.7 (m/本) × 1 (本) =	7.7 (m)	: P1
	6.2 (m/本) × 1 (本) =	6.2 (m)	: P6
	5.7 (m/本) × 4 (本) =	22.8 (m)	: P2~P5

※設置長=削孔長となる。

(2) 削孔長

削孔長数量表 (φ 115 mm)

反力体区分		1本当りの削孔長			本数 (本)	延べ削孔長 (m)	
		設置長	定着長	定着外余長		定着長	定着外余長
上部サポートロープアンカー	P1	6.5	5.5	1.0	1	5.5	1.0
	P6	6.0	5.0	1.0	1	5.0	1.0
下部サポートロープアンカー	P1	6.5	5.5	1.0	1	5.5	1.0
	P6	6.0	5.0	1.0	1	5.0	1.0
端末部リテイニング ロープアンカー	R1	4.5	3.5	1.0	1	3.5	1.0
	R6	4.5	3.5	1.0	1	3.5	1.0
中間部リテイニング ロープアンカー	R2~R5	6.5	5.5	1.0	4	22.0	4.0
ダウンスロープアンカー	P3	2.5	1.5	1.0	1	1.5	1.0
全ねじ異形棒鋼(山側)	P1	4.0	3.0	1.0	1	3.0	1.0
	P6	4.0	3.0	1.0	1	3.0	1.0
全ねじ異形PC鋼棒(山側)	P2~P5	7.0	6.0	1.0	4	24.0	4.0
全ねじ異形PC鋼棒(谷側)	P1	7.5	6.0	1.5	1	6.0	1.5
	P6	6.0	4.5	1.5	1	4.5	1.5
	P2~P5	5.5	4.0	1.5	4	16.0	6.0
合 計						108.0	26.0
削孔長延長						134.0	

1 2. 各反力体付属部材

・全ねじ異形棒鋼付属品

ナット（上部） D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数： 2（個）

ナット（下部） D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数： 2（個）

ワッシャ D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼（山側）設置本数×2

: 4（個）

球面ワッシャ

必要個数＝全ねじ異形棒鋼（谷側）設置本数： 0（個）

カプラー

全ねじ異形棒鋼 全長 (m)	カプラー個数 (個)
0.0～4.5	-
4.6～9.0	1
9.1～13.5	2

山側： 1 個 × 0 本 = 0 個

谷側： 0 個 × 0 本 = 0 個

0 個

※カプラーは、現地状況（搬入など）によって異なるが、当地においては上表を一応の目安に算出するものとし、実施工時においては変更する場合がある。

・全ねじ異形PC鋼棒付属品

ナット（上部） D32用

必要個数＝全ねじ異形PC鋼棒（山側）設置本数： 4（個）

溝付ナット（上部） D32用

必要個数＝全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数： 6（個）

ナット（下部） D32用

必要個数＝全ねじ異形PC鋼棒設置本数： 10（個）

ワッシャ D32用

必要個数＝全ねじ異形PC鋼棒（山側）設置本数×2＋全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数

: 14（個）

カプラー

全ねじ異形棒鋼 全長 (m)	カプラー個数 (個)
0.0～4.5	-
4.6～9.0	1
9.1～13.5	2

山側： 1 個 × 4 本 = 4 個

谷側： 1 個 × 6 本 = 6 個

10 個

※カプラーは、現地状況（搬入など）によって異なるが、当地においては上表を一応の目安に算出するものとし、実施工時においては変更する場合がある。

補強鋼管

必要本数＝全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数：	6	（本）
STPG370、 ϕ 76.3×t7.0、L=1500	：	4（本）
S45C、 ϕ 76.3×t7.0、L=1500	：	2（本）
S45C、 ϕ 76.3×t10.0、L=1500	：	0（本）

頭部保護キャップ

頭部保護キャップ必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数＋全ねじ異形PC鋼棒設置本数： 12（個）

充填剤（保護キャップ設置用） 1箇所あたり1本（333mℓ/本）

充填剤必要本数＝頭部保護キャップ数： 12（本）

孔壁保護管（ ϕ 60 mm）

ワイヤロープアンカー 区分	延べ削孔長	1本当り長さ	設置本数
サポートロープアンカー	： 25.0 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 28 (本)
リテイニングロープアンカー	： 35.0 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 39 (本)
ダウンスロープアンカー	： 2.5 (m)	/ 0.91 (m/本)	= 3 (本)
合 計			70 (本)

スペーサー

先端より0.5mの位置から最大ピッチ2.5mで設置する。また最低個数は1本当たり2個以上とする。

反力体区分	アンカー設置長	アンカー 1本あたり個数	アンカー 本数	設置個数
上部サポートロープアンカー	: 6.5 (m/本) ⇒	4 (個/本) ×	1 (本) =	4 (個)
	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
下部サポートロープアンカー	: 6.5 (m/本) ⇒	4 (個/本) ×	1 (本) =	4 (個)
	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
端末部リテイニングロープアンカー	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
中間部リテイニングロープアンカー	: 6.5 (m/本) ⇒	4 (個/本) ×	4 (本) =	16 (個)
ダウンスロープアンカー	: 2.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
全ねじ異形棒鋼 (山側)	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
全ねじ異形PC鋼棒 (山側)	: 7.0 (m/本) ⇒	4 (個/本) ×	4 (本) =	16 (個)
全ねじ異形PC鋼棒 (谷側)	: 7.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	4 (本) =	12 (個)
合 計				78 (個)

1.3. グラウト量

グラウト量は、以下に示す国土交通省土木工事積算基準（H21（財）建設物価調査会 P.167より抜粋）に従い算出する。

(3) 材料使用量及び補正係数（参考）

1) グラウトの使用量

グラウトの使用量は、次表を参考とする。

$$V = \frac{D^2 \times \pi}{4 \times 10^6} \times L \times (1 + K) \quad \dots\dots \text{式3.1}$$

V：注入量（ m^3 ）

D：ドリルパイプの外径（mm）

L：削孔長（m）

K：補正係数

（注）設計における補正係数は、2.2を標準とする。ただし、過去の実績や土質条件等により本係数を使用することが不合理である場合は、別途考慮する。

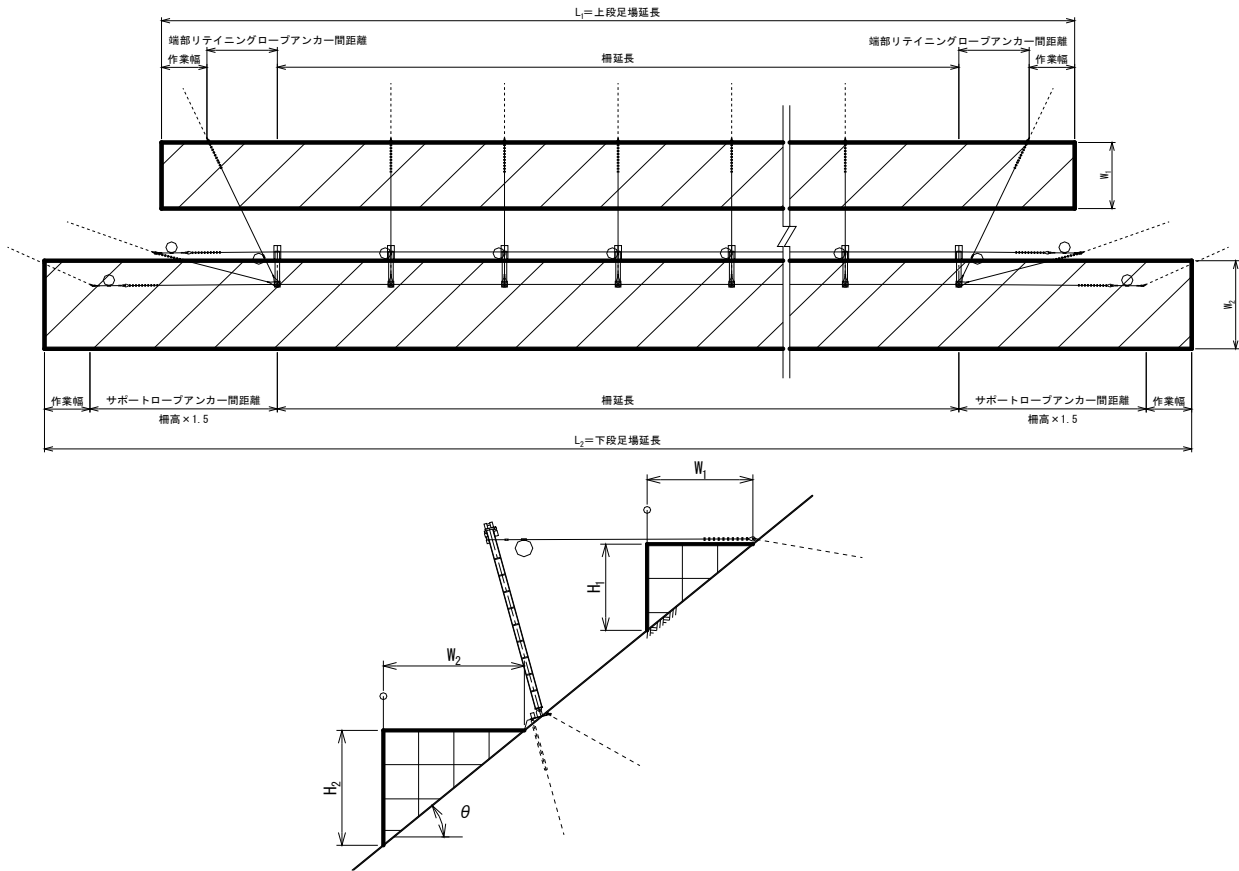
削孔径： 115（mm）

削孔延長： 134.0（m）

$$\begin{aligned} V &= D^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times \Sigma L \times (1 + K) \\ &= 115^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 134.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 4.45 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

1 4. 足場空³

仮設足場の数量は、足場面積×柵延長にて算出する。



・上段足場（リテイニングロープ削孔用足場）

足場幅： $W_1 = 3.0 \text{ m}$

勾配： $\theta = 40^\circ$

足場高： $H_1 = W_1 \times \tan 40^\circ = 2.5 \text{ m}$

足場面積： $A_1 = 3.0 \text{ (m)} \times 2.5 \text{ (m)} / 2 = 3.8 \text{ (m}^2\text{)}$

足場延長： $L_1 = \text{柵延長} + \text{両端部リテイニングロープアンカー間距離} + \text{作業幅}$
 $= 25 + 1.9 + 2.5 + 2.0 \times 2 = 33.4 \text{ m}$

足場空³： $A_1 \times L_1 = 3.8 \times 33.4 = 126.9 \text{ (空m}^3\text{)}$

・下段足場（支柱建て込み及びサポートロープアンカー削孔用足場）

足場幅： $W_2 = 4.0 \text{ m}$

勾配： $\theta = 40^\circ$

足場高： $H_2 = W_2 \times \tan 40^\circ = 3.4 \text{ m}$

足場面積： $A_2 = 4.0 \text{ (m)} \times 3.4 \text{ (m)} / 2 = 6.8 \text{ (m}^2\text{)}$

足場延長： $L_2 = \text{柵延長} + \text{両端部サポートロープアンカー間距離} + \text{作業幅}$
 $= 25 + 7.5 + 7.5 + 2.0 \times 2 = 44 \text{ m}$

足場空³： $A_2 \times L_2 = 6.8 \times 44.0 = 299.2 \text{ (空m}^3\text{)}$

総足場空³： $126.9 + 299.2 = 426.1 \text{ (空m}^3\text{)}$

参 考 图

—急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）—

図面番号	1/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策工事(深小学校上地区)		
種別	標準断面図	番号	1/1
路線名	深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

標準断面図

吹付法砕工

NO. 3
GH=96.580
FH=
D=10.000

床掘り余裕幅
プレキャスト製品等の場合

掘削面の高さ	余裕幅
1m未満	構造物端から30cmとすることができる。

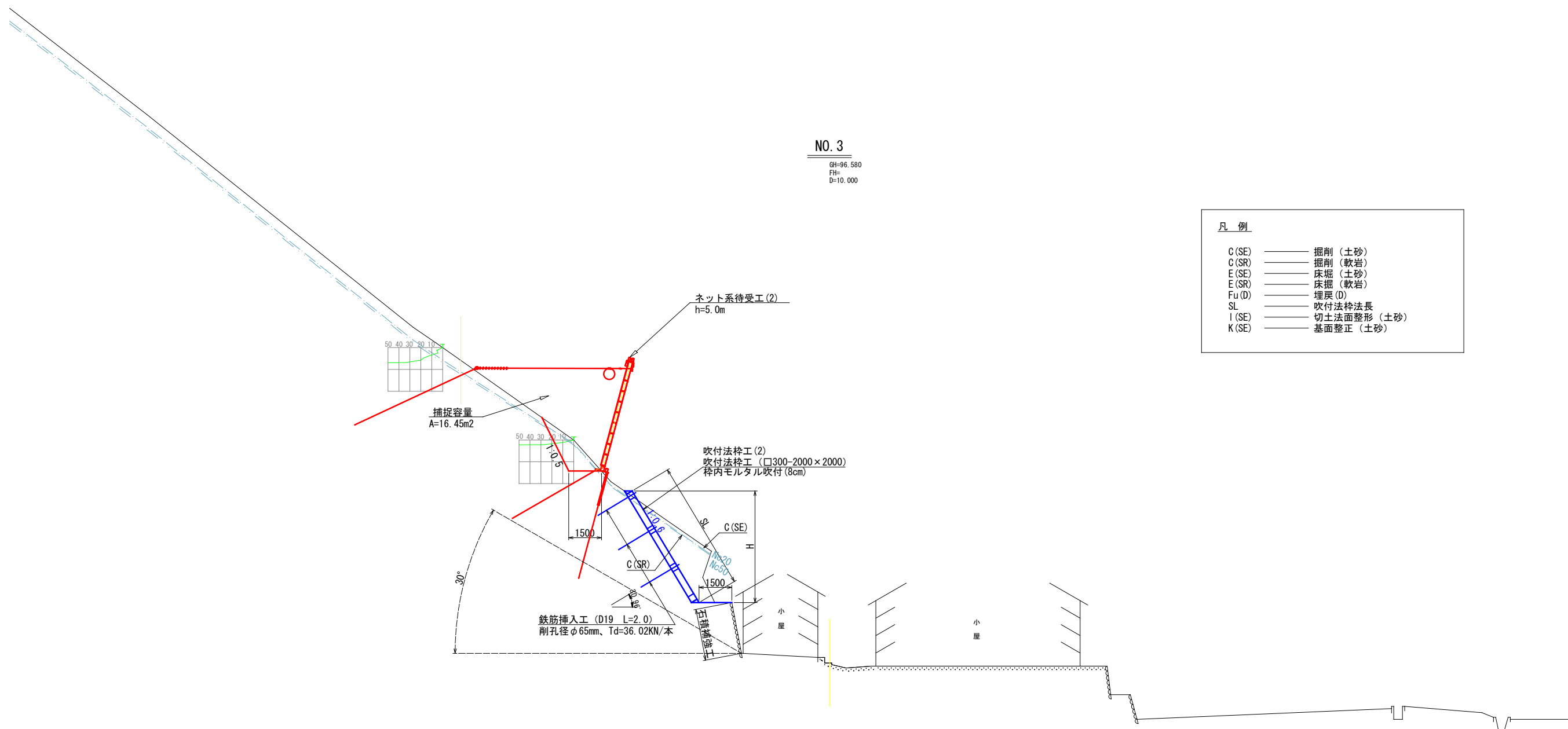
埋戻し

埋戻し種別	埋戻し幅	埋戻し種別	埋戻し幅
A	W2 ≥ 4m	C	1m ≤ W1 ≤ 4m, W2 < 1m
B	W1 ≥ 4m, W2 < 1m	D	W1 ≤ 1m, W2 < 1m

W1: 最大埋戻し幅
W2: 最小埋戻し幅

凡例

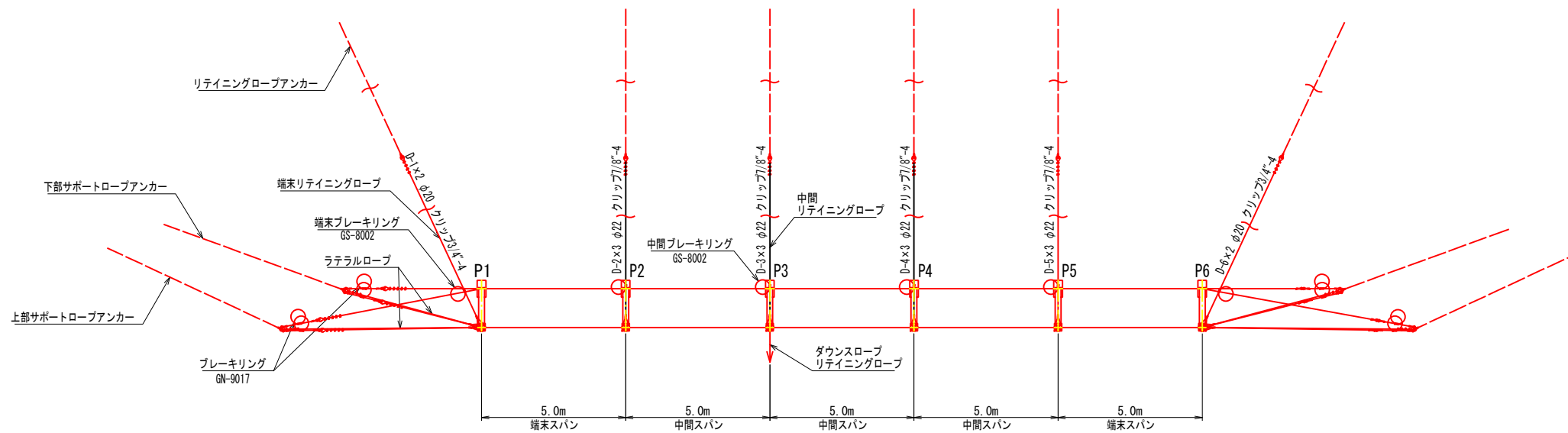
- C (SE) ———— 掘削 (土砂)
- C (SR) ———— 掘削 (軟岩)
- E (SE) ———— 床掘 (土砂)
- E (SR) ———— 床掘 (軟岩)
- Fu (D) ———— 埋戻 (D)
- SL ———— 吹付法砕法長
- I (SE) ———— 切土法面整形 (土砂)
- K (SE) ———— 基面修正 (土砂)



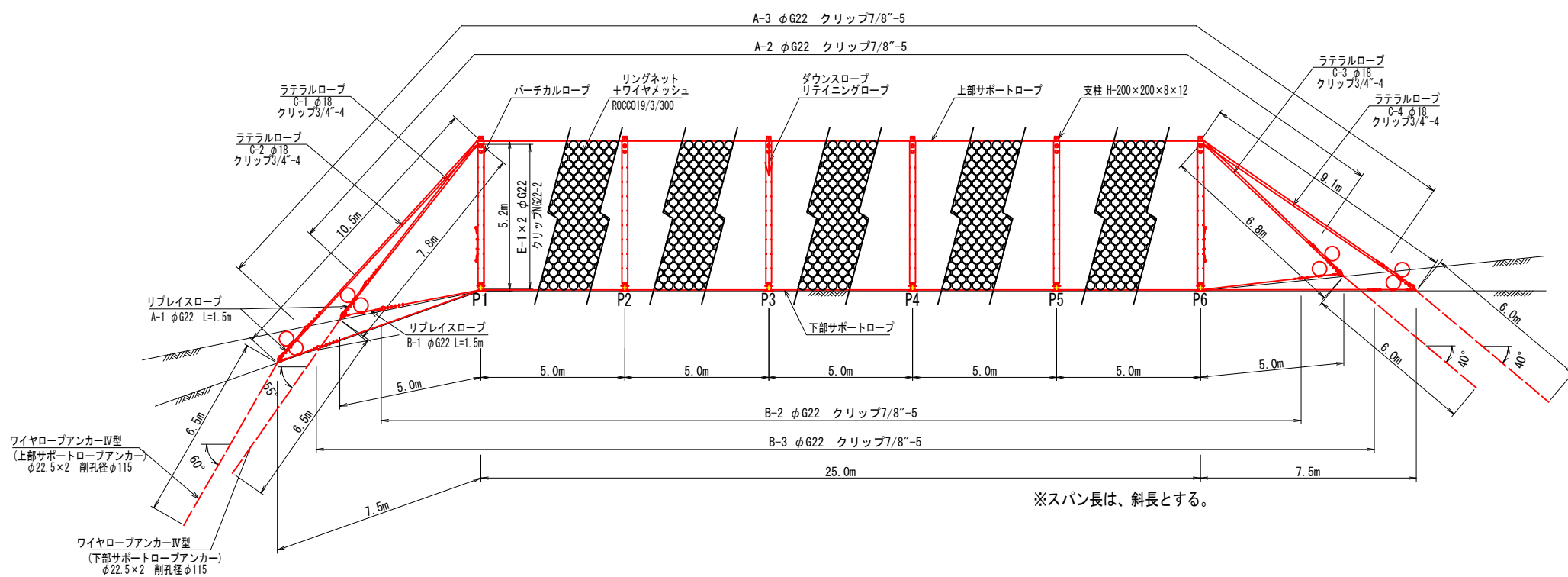
図面番号	2/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)構造図 巻1/2		
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

ネット系待受工(1) 構造図(1/2) 延長25m

平面図 S=1/100

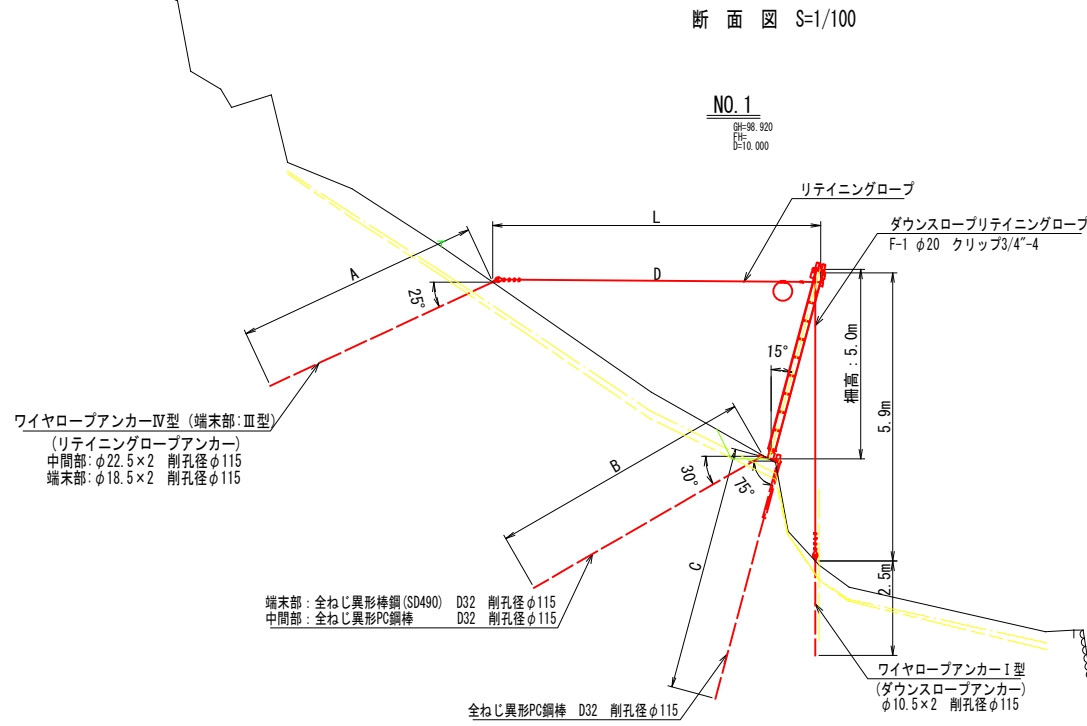


展開図 S=1/100



図面番号	3/8	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)構造図 巻 2/2		
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

ネット系待受工(1) 構造図(2/2) 延長25m



区分	リテイニングロープ長 L
D-1	7.2m
D-2	6.9m
D-3	8.3m
D-4	8.0m
D-5	9.3m
D-6	8.5m

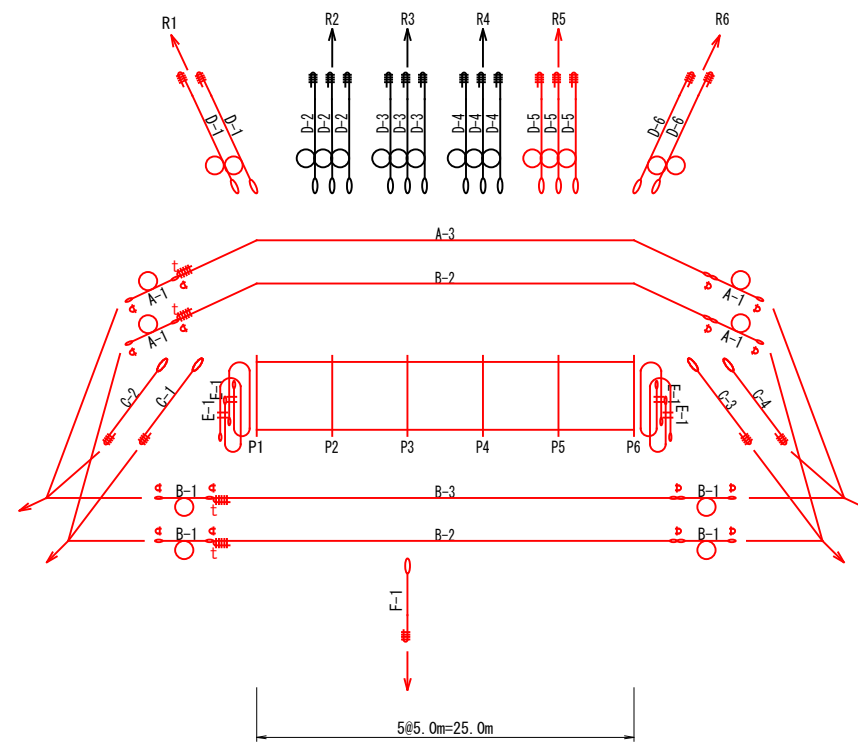
区分	リテイニングロープアンカー A
R1	4.5m
R2~R5	6.5m
R6	4.5m

区分	支柱基礎反力体	
	B (山側)	C (谷側)
P1	4.0m	7.5m
P2~P5	7.0m	5.5m
P6	4.0m	6.0m

※ダウンスロープリテイニングロープは
P3支柱に設置する。

DL=90.000

ワイヤロープ設置図 S=NTS



※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、
施工時には各ワイヤロープ長を変更する場合があります。

※2) □ はシャックル止めを示す。

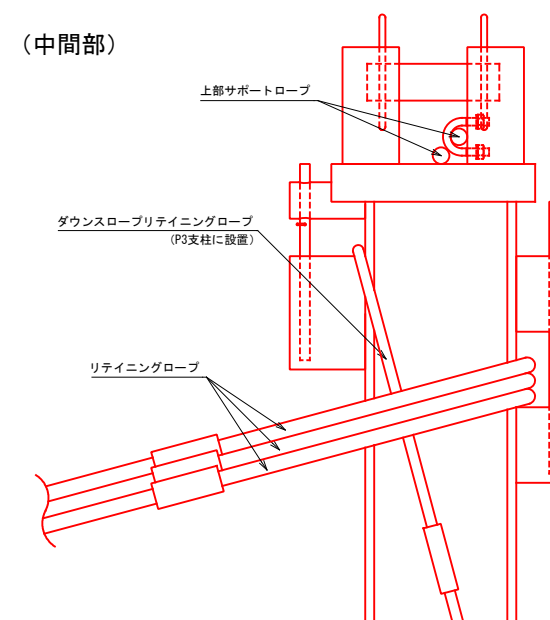
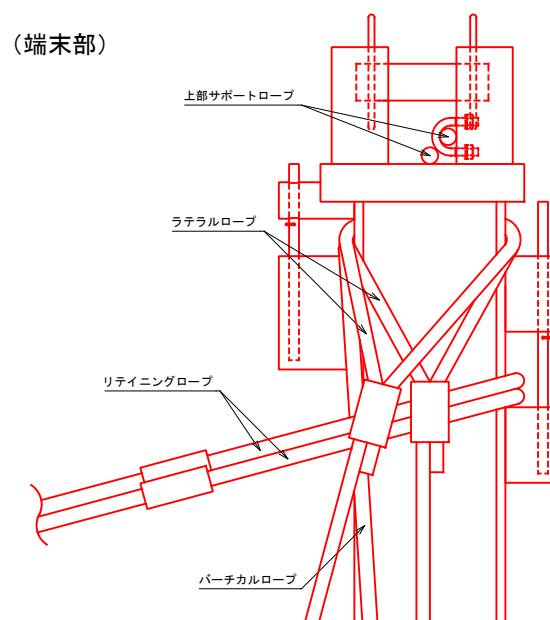
※3) t はシンプル使用。

- A: 上部サポートロープ
- B: 下部サポートロープ
- C: ラテラルロープ
- D: リテイニングロープ
- E: パーチカルロープ
- F: ダウンスロープリテイニングロープ

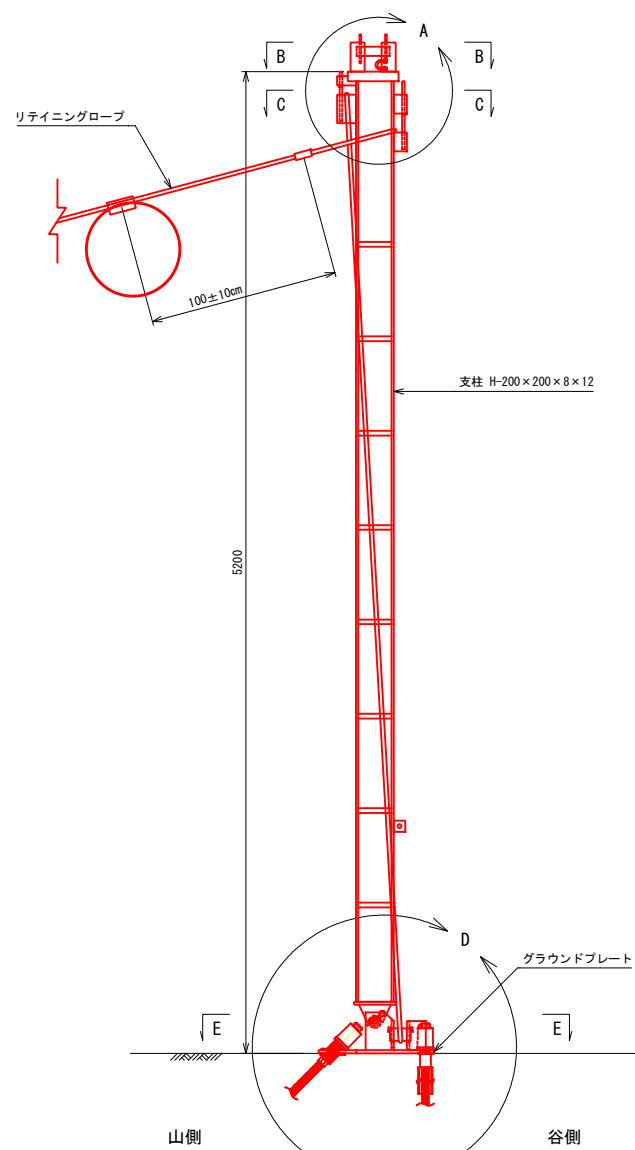
図面番号	4/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)詳細図	番号	1/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

ネット系待受工(1) 詳細図(1/5)

A部詳細図 S=1/5

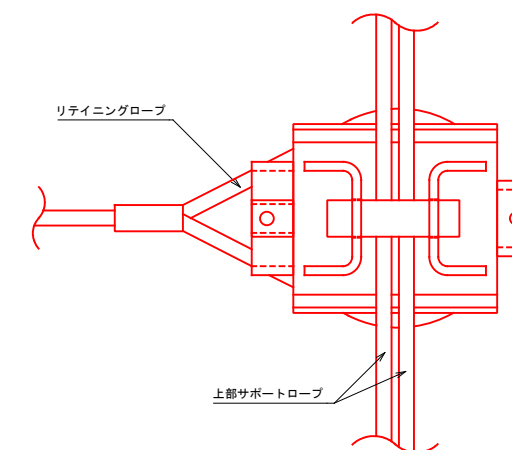
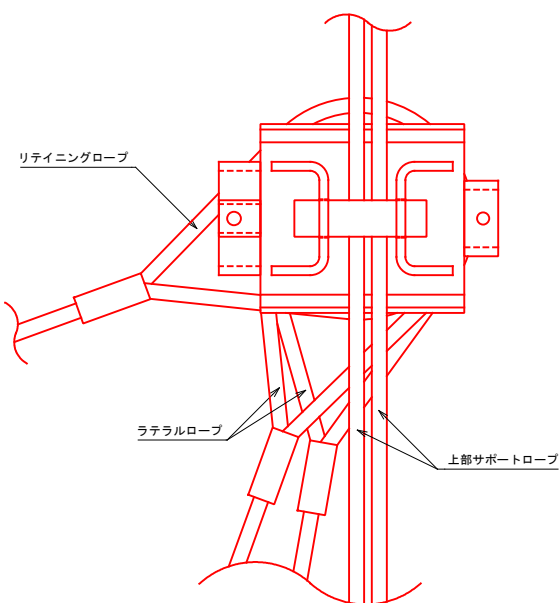


支柱全体図 S=1/20
(H=5.0m)

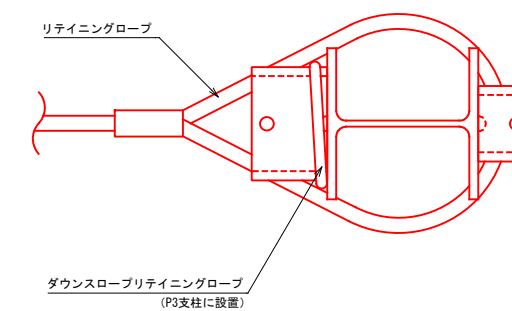
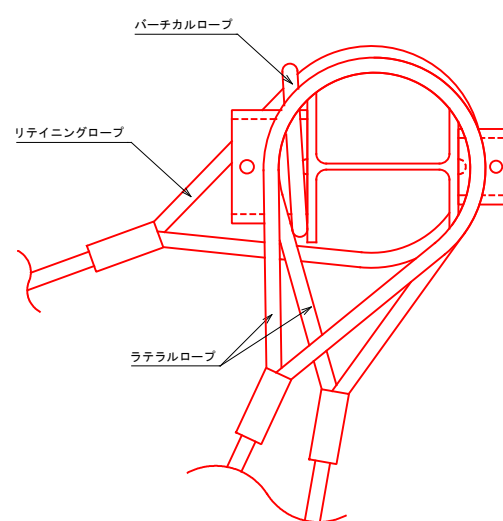


※ グラウンドプレート下部に於いては、地盤状況に応じて調整モルタルを打設する。

B-B平面図 S=1/5



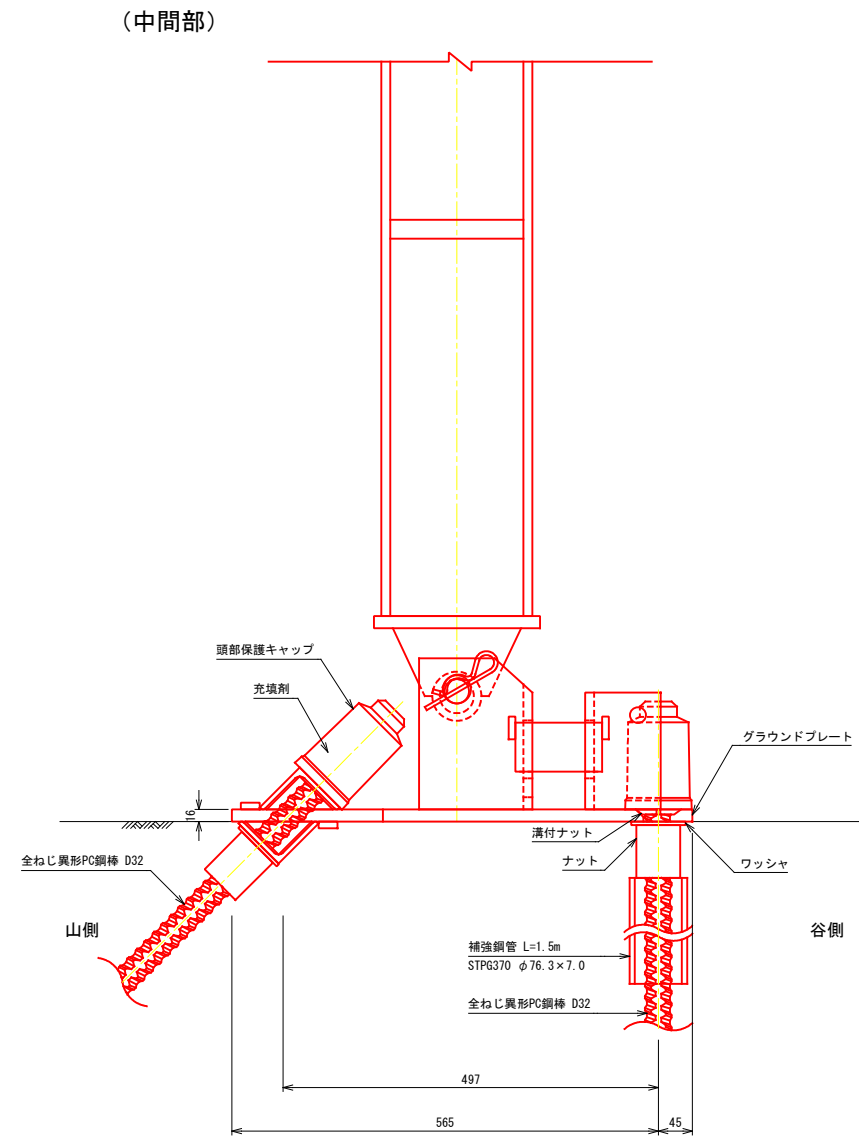
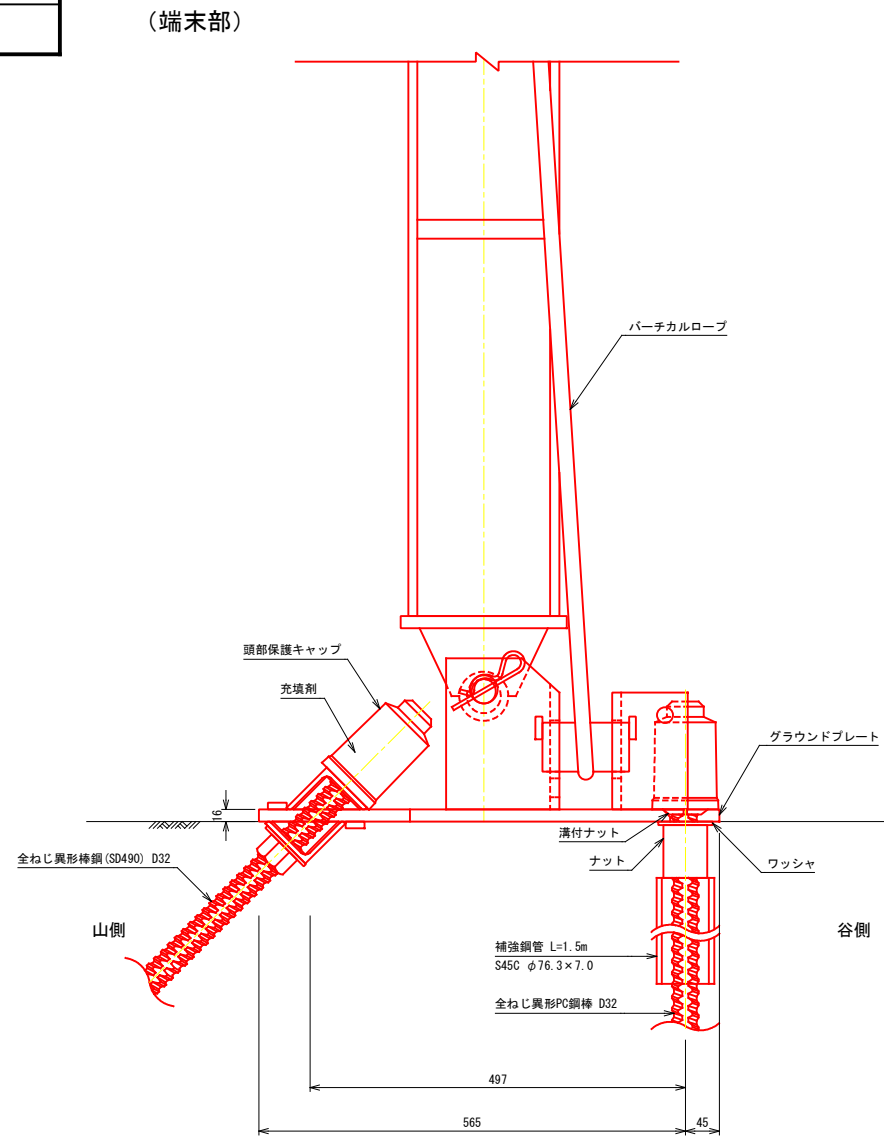
C-C平面図 S=1/5



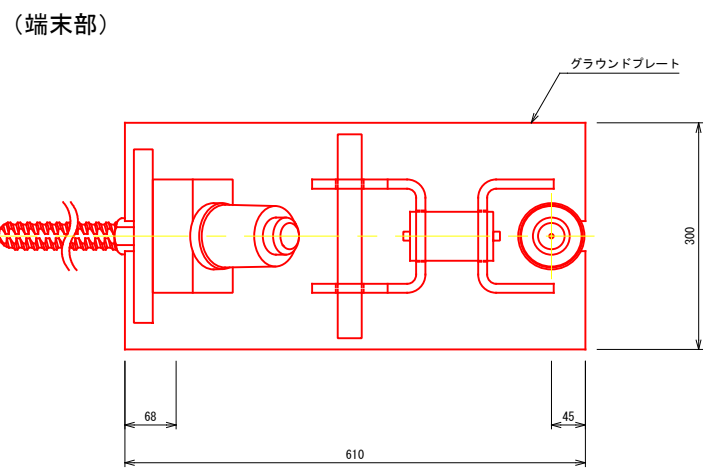
図面番号	5/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)詳細図	番	2/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

ネット系待受工(1) 詳細図(2/5)

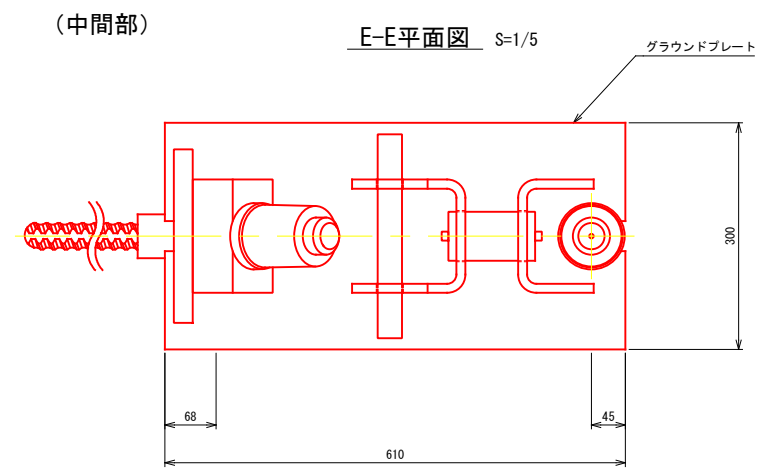
D部詳細図 S=1/5



E-E平面図 S=1/5



E-E平面図 S=1/5

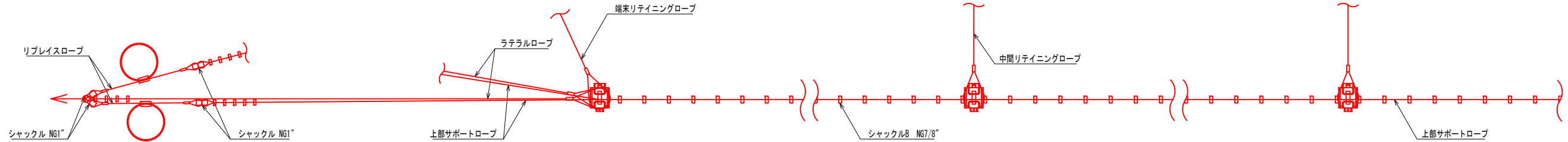


図面番号	6/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)詳細図 巻3/5		
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
	三原市		

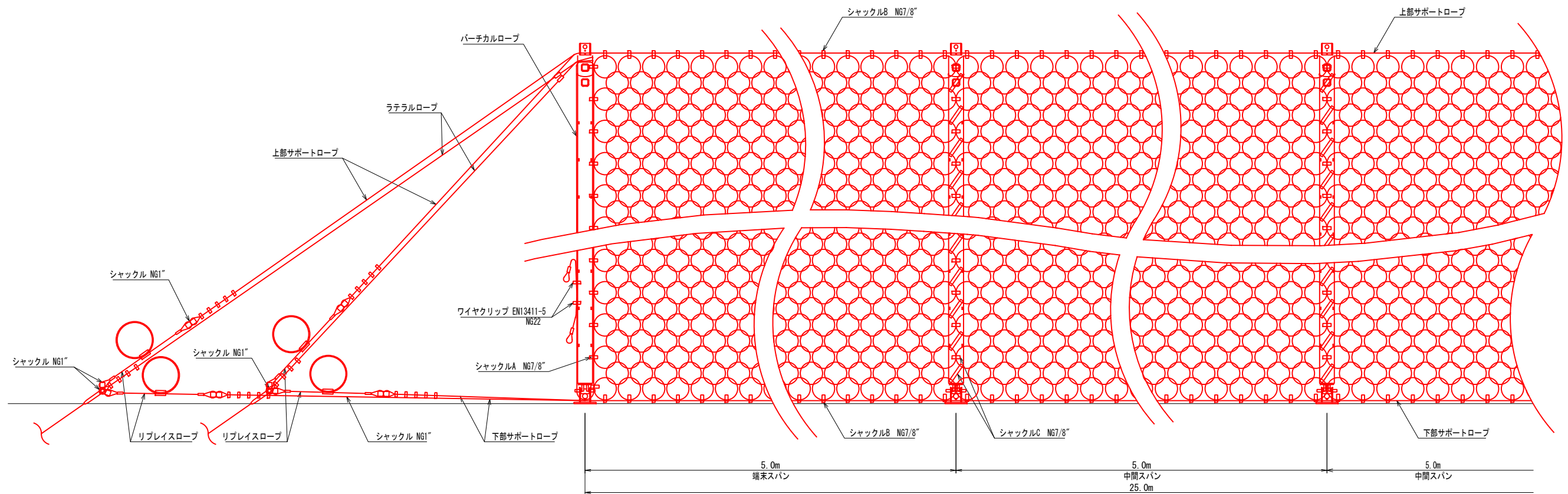
ネット系待受工(1) 詳細図(3/5)

リングネット取付詳細図 S=1/30

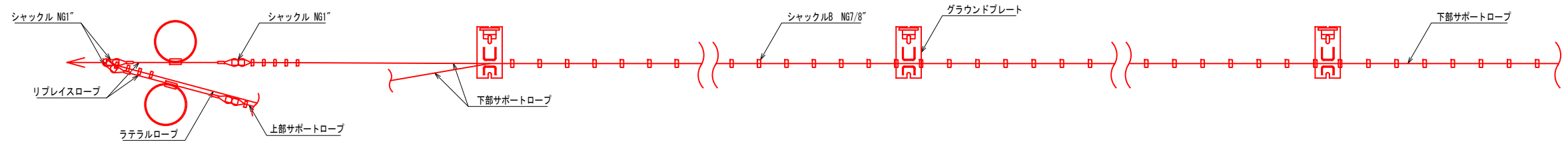
平面図
(上部)



展開図



平面図
(下部)



シャックル取り付け個数 (ネット1枚当たり)

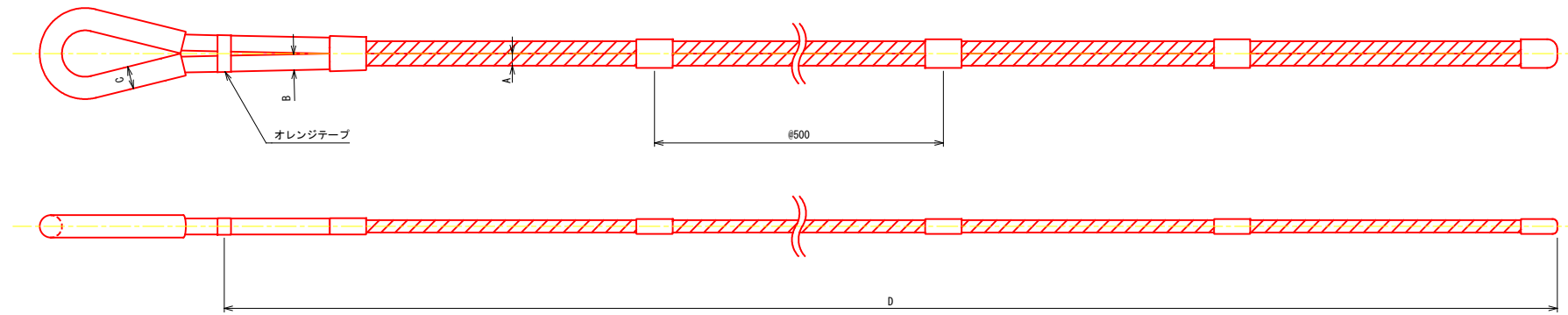
リングネット パネルサイズ(m×m)	シャックル個数(ヶ)		
	A	B	C
縦5.0×横5.0	12	30	23

※ A: パーチカルロープ連結用
 B: サポートロープ連結用
 C: リングネット連結用

図面番号	7/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)詳細図	番号	4/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

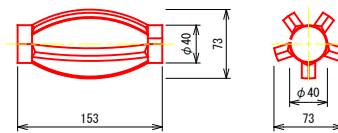
ネット系待受工(1) 詳細図(4/5)

ワイヤロープアンカー

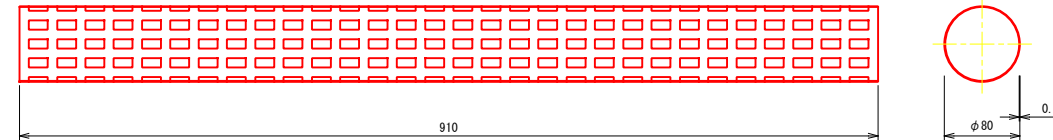


アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1	22.5	32	42.4	6.5
	P6				6.0
下部サポートロープアンカー	P1	22.5	32	42.4	6.5
	P6				6.0
端末部リテイニングロープアンカー	R1, R6	18.5	25	33.7	4.5
中間部リテイニングロープアンカー	R2~R5	22.5	32	42.4	6.5
ダウンスロープアンカー	P3	10.5	14	21.3	2.5

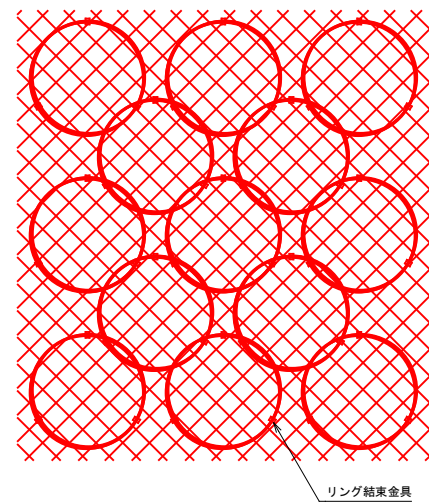
スペーサー S=1/4



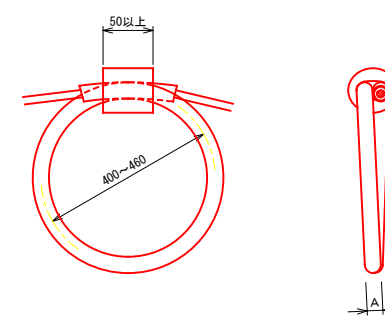
孔壁保護管 S=1/4



リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



ブレーキリング S=1/10



ブレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8002	φ20~22	42.7
GN-9017	φ622	42.4

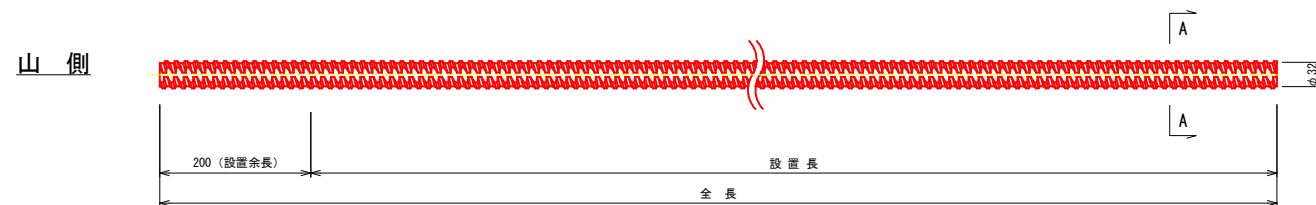
ネット形式	ROCCO 19/3/300
-------	----------------

ワイヤメッシュφ2.4×50
 ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm (接続箇所数: 8ヶ所/m²)
 凡例 ネット形式
 ROCCO 19 / 3 / 300
 径
 線径
 巻数

図面番号	8/8	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工(1)詳細図	番号	5/5
路線名	深町深小学校上地区		
工事箇所	三原市深町		
三原市			

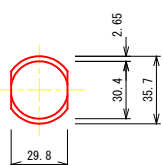
ネット系待受工(1) 詳細図(5/5)

全ねじ異形棒鋼 (SD490) S=1/5

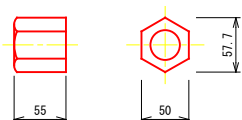


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
端末支柱部	P1, P6	0.2	4.0	4.2

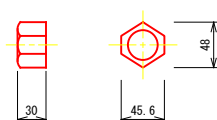
A-A断面図 S=1/2



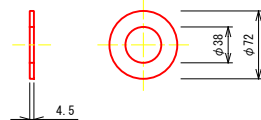
ナット (上部) S=1/4
(垂鉛めっき品)



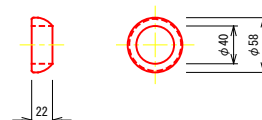
ナット (下部) S=1/4
(垂鉛めっき品)



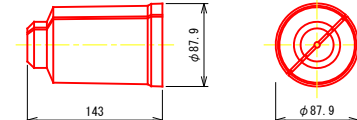
ワッシャ S=1/4



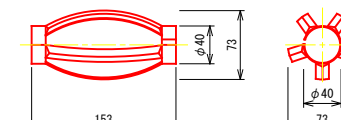
球面ワッシャ S=1/4
(垂鉛めっき品)
谷側



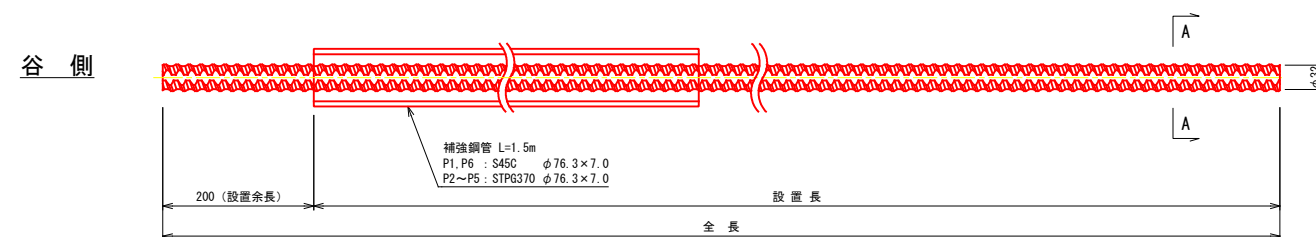
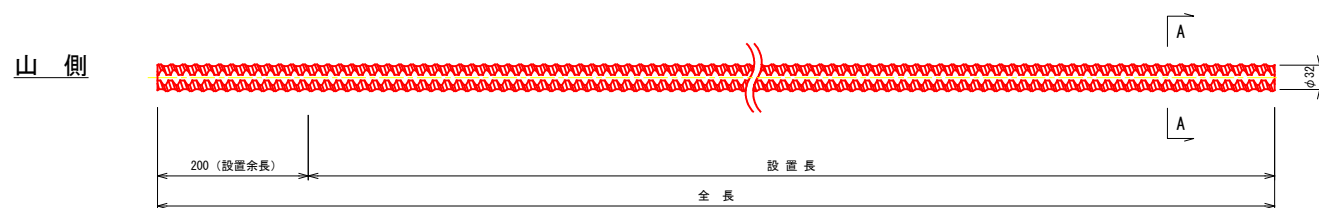
頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



全ねじ異形PC鋼棒 S=1/5

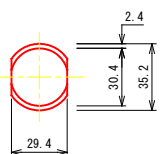


区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
中間支柱部	P2~P5	0.2	7.0	7.2

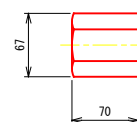
区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
端末支柱部	P1	0.2	7.5	7.7
	P6	0.2	6.0	6.2

区分	設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)	
中間支柱部	P2~P5	0.2	5.5	5.7

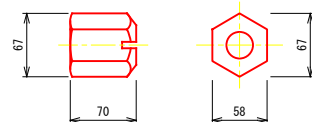
A-A断面図 S=1/2



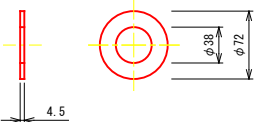
ナット S=1/4



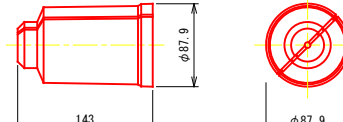
溝付きナット S=1/4



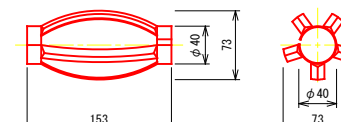
ワッシャ S=1/4



頭部保護キャップ S=1/4



スペーサー S=1/4



カブラー S=1/4



位置図

(34. 431259, 133. 135386)

急傾斜地崩壊対策工事（深小学校上地区）

